

令和5年度1学期始業式 式辞

皆さんこんにちは、新しく着任した校長の黒岩寛です。これからよろしくお願い申し上げます。私は4/3に本校に着任して、今とても新鮮な気持ちです。

先日、小学校の先生からこんな話を聞きました。小学3年生の理科の授業で、担任の先生が「雪が融けると何になるでしょう？」と問いかけました。

すぐに手が上がり「水です」と答えた子のあとに、「春になる」と答えた子がいたそうです。皆さんはこの話をどう思いますか？

私はこの話を聞いて、「春になる」と答えた子の感受性は、とても素敵だなと思いました。雪が融けて水になる（個体が液体になる）と、私は固定観念に縛られて「雪が融けて春になる」という発想が全く浮かびませんでした。

皆さんはどうですか、高校生活も2年目、3年目を迎え、高校生活には十分に慣れていることと思いますが、そんな中で「どうせやってもでけへんし」とか「これくらいでええちゃうん」という固定観念ができてしまっていないでしょうか。

「雪が水」のように、固定した考えでいたことも、「雪が春」のように違う角度から考えてみれば、まだまだチャレンジできることがあるのではないのでしょうか。

私も皆さんも小学3年生のような感受性を呼び起こしてみませんか。素直な感覚で物事を柔らかく、そして色々な角度から見ていけば、新しい発見や新しい物の見方ができるのだと思うのです。

今日から新しい一年間がスタートします。マスクも外せるようになりました。コロナウィルスも収束が近づいて来ているのだと思います。朝の来ない夜がないように、苦しいところを越えれば、きっと良い未来が皆さんを待っています。

新鮮な気持ちと感受性を大切に、新学期をスタートして行きましょう。